

施策評価シート【重点施策】

個別施策 - (3)

地域資源を活用した新たな事業を創出する

基本的な方向性

各産業の強みを活かし、分野横断的なネットワークを活用した支援により産業間連携や6次産業化を推進することで付加価値向上を促します。また、地域資源を活用した着地型の観光やにぎわいを創出することにより、本市産業の更なる活性化と新たな事業につなげます。さらに、ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジに基づき、龍城ヶ丘ゾーンの公園整備に取り組み、自然と調和しつつ「海」を活用したにぎわいの創出や来園者等への情報発信により、産業の活性化等に寄与します。

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
産業間連携ネットワークによる新商品開発・新事業創出件数【累計】	件	13	18	23	26	28	28
市外の観光キャンペーン等への参加回数【年間】	回	21	1	1	1	1	25

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・産業活性化会議及び産業活性化推進会議を開催し、市内各産業界の情報共有を図り、連携して課題解決に向けた取組を促進しました。また、産業間連携ネットワーク会員向けに、コロナ禍で普及したショート動画についてのセミナーを開催するとともに、新商品開発・新事業創出ではプロジェクトを支援し、2つの新商品開発につなげました。
- ・平塚市漁業協同組合が実施する漁獲物の高付加価値化や漁場環境を向上させる取組などの支援のほか、漁業者とともに市内小学校を訪問し、本市の漁業への理解促進を図りました。
- ・観光協会と連携し、観光フェスティバル等を実施し、市内の観光情報をPRするとともに近隣市町との広域観光を進めるため、湘南地区観光振興協議会で、湘南観光ガイドブックを作成し、市内の観光施設へ配架するとともにSNS等での情報発信を行いました。
- ・東海大学の学生による「大学生が選ぶ平塚のおすすめスポット」の投稿をはじめ、インスタグラムなどのSNS、定住促進特設ウェブサイトなど、様々な媒体で魅力を発信しました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（）」

- ・環境の変化に柔軟に対応できるようビジネスモデルを変革していく必要があります。
各業界の課題を共有するとともに、産業間連携ネットワーク会員などのニーズに応じた支援を行います。
- ・漁業の経営安定を図る必要があります。
平塚産水産物の高付加価値化に資する事業に対して支援を行います。
- ・観光需要の変化を踏まえ、更なる集客を図る必要があります。

市内の関係団体や企業を結び付け、連携することで、観光客の受入体制を整えるとともに、地域資源を活かした魅力的な観光プログラムを開発します。

- ・テレビ番組や雑誌などの各種メディアが自発的に本市の海岸エリアの魅力を上げる状況を作る必要があります。

海岸エリアの魅力を掘り起こすとともに、市や観光協会のホームページに限らず、他団体のSNSなども活用し、最新の観光情報を発信します。

関連する【取組】と（事業）

【企業、団体、個人事業者のネットワーク化による産業間の連携の場の創出】（産業間連携促進事業）（知的対流推進事業）

【農水産業における新事業の創出や新商品の開発支援、販路拡大に向けた支援】（都市農業促進事業）（水産振興推進事業）（漁業理解促進事業）（観光事業）

【海岸エリア魅力アップチャレンジ】（湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業）（海岸エリア魅力発信事業）（知的対流推進事業）（漁業理解促進事業）（観光事業）